



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 東

上場会社名 京浜急行電鉄株式会社
 コード番号 9006 URL <http://www.keikyu.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 石渡 恒夫
 (氏名) 廣川 雄一郎
 配当支払開始予定日

TEL 03-3280-9135
 平成23年12月1日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	141,708	△5.5	8,668	△27.1	5,617	△35.7	2,248	△25.2
23年3月期第2四半期	149,967	1.5	11,889	9.7	8,740	20.3	3,005	△3.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,472百万円 (8.5%) 23年3月期第2四半期 2,277百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.08	—
23年3月期第2四半期	5.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	964,730		186,115			19.2
23年3月期	982,104		185,323			18.8

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 185,689百万円 23年3月期 184,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,000	△0.9	16,500	△15.5	10,000	△25.4	4,000	△43.2	7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	551,521,094 株	23年3月期	551,521,094 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	175,744 株	23年3月期	169,000 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	551,348,338 株	23年3月期2Q	551,390,424 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考)

平成 24 年 3 月期の個別業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	106,700	1.4	3,600	△37.4	6,500	73.6	11.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
3. 補足情報	10
【第2四半期連結損益計算書（前年同期比較）】	10
【セグメント情報（前年同期比較）】	11
【鉄道運輸成績】	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）のわが国経済は、東日本大震災の影響などにより、経済の混乱や消費者心理の冷え込み等があり、期首に景気が大幅に悪化しました。その後、景気は回復に向かいつつありましたが、失業率は高い水準で推移し、欧米の金融不安による円高、株安が進行するなど、先行きは不透明な状況で推移しました。

このような厳しい事業環境のなか、当社グループは、公共交通機関をはじめとしたライフラインを担う企業集団として各事業において積極的に節電を図りながら、引き続き安全・安心、良質なサービスの提供に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,417億8百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は86億6千8百万円（前年同期比27.1%減）、経常利益は56億1千7百万円（前年同期比35.7%減）、四半期純利益は22億4千8百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

次に、セグメント別の業績についてご報告いたします。

交通事業

鉄道事業では、夏季の電力使用制限により、一部の区間において電車運行本数の削減を実施するなど節電を図りながら、安定輸送の確保に努めました。また、当社線の利用促進を図るため、ダイヤを変更したほか、沿線自治体や航空会社と協力し、旅客誘致等を行いました。

また、引き続き安全対策を最重要課題とし、連続立体交差化工事を進め、京急蒲田駅付近では高架化工事を、大師線では地下化工事を推進しました。さらに、六浦駅でホームの安全対策工事を進めたほか、高機能ATS（C-ATS）の機能向上により一部の区間において踏切道防護システムの使用を開始しました。

乗合・貸切自動車事業では、京浜急行バス(株)および川崎鶴見臨港バス(株)は共同で、横浜駅～浮島線の運行を開始したほか、横浜駅～東扇島線を増便しました。また、川崎鶴見臨港バス(株)は、当社が整備した産業道路駅前のバス発着所の完成に伴い、10月から新規2路線の運行を開始し、通勤の利便性向上を図りました。さらに、京浜急行バス(株)は、羽田空港からのアクセス向上を図るため、羽田空港～富士山駅線および横浜駅・羽田空港～軽井沢駅前線の運行を開始しました。なお、11月から羽田空港・横浜駅～箱根湯本駅線の運行を開始しました。

タクシー事業では、PASMO電子マネーの導入を進め、利便性の向上を図りました。また、羽田空港と神奈川方面間の定額運賃制タクシーの対象地区を拡大し、新規顧客の開拓を図りました。

しかしながら、東日本大震災や天候不良による出控え、沿線催し物の減少の影響等を受け、交通事業の営業収益は563億9千2百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益は62億6千8百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

不動産事業

不動産販売業では、当社は、他社と共同で港町駅前において大規模分譲マンション「リヴァリエ」の販売を開始したほか、引き続き「パームヒルズ京急富岡」分譲地等を販売しました。また、京急不動産(株)は、他社と共同で大鳥居駅近隣の分譲マンション「ライオンズ ウイングゲート」の建設工事を進め、10月に販売を開始しました。さらに、当社および京急不動産(株)は、沿線地域において、立地特性を活かした宅地・戸建住宅を引き続き販売しました。

不動産賃貸業では、当社は、複合施設「SHINAGAWA GOOS」を開業したほか、既存オフィスビルの資産価値向上を図り、高稼働率の維持に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は126億8千8百万円（前年同期比9.6%増）、営業利益は11億8千3百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

レジャー・サービス事業

ホテル業では、ホテル グランパシフィック LE DAIBAは、近隣施設と連携し、家族向けの宿泊プランを販売するなど、新規顧客の獲得に努めました。また、京急EXインは、「SHINAGAWA GOOS」内に新たに開業した「京急EXイン 品川駅前」をはじめ、各館が好調に稼働しました。なお、経営の効率化を図るためシティホテル事業の再編を推進し、「高輪京急ホテル」を改装し、ビジネスホテル「京急EXイン 高輪」として11月に開業します。

レジャー施設業では、京急開発(株)は、「ボートレース平和島」の外向発売所の営業時間を拡大し、収益の向上を図りました。

しかしながら、海外からの訪日旅客の激減などの影響により、レジャー・サービス事業の営業収益は181億1千5百万円（前年同期比17.5%減）、営業損失は2億2千3百万円（前年同期は営業損失4億1千9百万円）となりました。

流通事業

百貨店業では、(株)京急百貨店は、新規テナントの誘致等を行い、新規顧客の創出を図りました。また、10月の開店15周年に向け、婦人服売場等の改装を進めました。

ストア業では、(株)京急ストアは、前年12月に開業した新川崎店が順調に推移しました。また、ユニオネックス(株)は、建替工事を進めていた「もとまちユニオン本店」をグランドオープンしたほか、「もとまちユニオン」の都心部への進出を積極的に行い、10月の新宿店の開業に続き、12月には六本木店を開業します。

物品販売業では、(株)京急ステーションコマースは、引き続き駅売店のセブン-イレブンへの転換を推進し、羽田空港国際線ターミナル店をはじめ、各店が好調に推移しました。

以上の結果、流通事業の営業収益は541億9千4百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は4億4千8百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

その他

京急建設(株)および京急電機(株)は、引き続き鉄道の安全対策工事等を行いました。

しかしながら、京急電機(株)で前年同期に大型工事を竣工したことの反動などにより、その他の事業の営業収益は196億6千万円（前年同期比32.9%減）、営業利益は8億4百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

なお、当社は、京急グループのポイントカードサービスをリニューアルし、「京急プレミアムポイント」として10月から運用を開始しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の減少などにより前連結会計年度末と比べ173億7千3百万円減少しました。

負債は、借入金の減少などにより前連結会計年度末と比べ181億6千6百万円減少しました。

また、純資産は、剰余金の配当による減少はありましたが、四半期純利益の計上などにより前連結会計年度末と比べ7億9千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、個人消費に一部持ち直しの動きが見られるものの、本格的な回復には至っておらず、東日本大震災の影響等により、引き続き厳しい状況が続くものと予想されます。

通期の連結業績予想については、第2四半期までの業績等を踏まえ見直しを行った結果、交通事業やレジャー・サービス事業を中心に、平成23年8月3日に公表した前回予想値を上回る見通しとなりましたので、以下のとおり修正いたします。

なお、本日（平成23年11月9日）、別途「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しております。

平成24年3月期通期連結業績予想値の修正

(単位：百万円)

	前回発表予想	今回修正予想	増減額	増減率 (%)
営業収益	295,000	297,000	2,000	0.7
営業利益	14,300	16,500	2,200	15.4
経常利益	7,600	10,000	2,400	31.6
当期純利益	2,000	4,000	2,000	100.0

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,030	41,595
受取手形及び売掛金	10,881	10,244
商品及び製品	2,548	2,455
分譲土地建物	85,272	85,372
仕掛品	2,845	2,601
原材料及び貯蔵品	575	631
繰延税金資産	2,180	2,047
その他	6,366	6,869
貸倒引当金	△123	△121
流動資産合計	167,577	151,695
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	295,217	296,821
機械装置及び運搬具(純額)	42,563	40,929
土地	148,297	148,917
建設仮勘定	236,905	236,848
その他(純額)	6,998	7,169
有形固定資産合計	729,982	730,686
無形固定資産		
のれん	4,629	4,019
その他	6,236	5,928
無形固定資産合計	10,866	9,947
投資その他の資産		
投資有価証券	33,749	34,090
長期貸付金	2,520	2,401
繰延税金資産	12,189	12,081
その他	25,454	24,047
貸倒引当金	△236	△218
投資その他の資産合計	73,677	72,401
固定資産合計	814,526	813,035
資産合計	982,104	964,730

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,250	19,735
短期借入金	146,139	134,444
コマーシャル・ペーパー	18,000	27,000
1年内償還予定の社債	202	196
未払法人税等	3,707	2,462
繰延税金負債	—	24
前受金	4,837	5,548
賞与引当金	1,193	1,525
役員賞与引当金	145	—
その他	25,510	26,386
流動負債合計	231,986	217,323
固定負債		
社債	90,566	90,471
長期借入金	277,043	270,121
繰延税金負債	619	671
退職給付引当金	5,719	5,966
役員退職慰労引当金	693	663
長期前受工事負担金	161,162	165,652
その他	28,990	27,742
固定負債合計	564,795	561,291
負債合計	796,781	778,614
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,738	43,738
資本剰余金	44,157	44,157
利益剰余金	97,832	98,426
自己株式	△122	△126
株主資本合計	185,607	186,197
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△713	△507
その他の包括利益累計額合計	△713	△507
少数株主持分	429	426
純資産合計	185,323	186,115
負債純資産合計	982,104	964,730

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益	149,967	141,708
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	121,169	116,061
販売費及び一般管理費	16,908	16,979
営業費合計	138,077	133,040
営業利益	11,889	8,668
営業外収益		
受取利息	44	51
受取配当金	215	227
持分法による投資利益	225	206
その他	810	596
営業外収益合計	1,296	1,081
営業外費用		
支払利息	3,977	3,875
その他	467	257
営業外費用合計	4,445	4,133
経常利益	8,740	5,617
特別利益		
工事負担金等受入額	198	52
特別利益合計	198	52
特別損失		
投資有価証券評価損	1,921	295
固定資産圧縮損	198	52
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—
特別損失合計	2,811	348
税金等調整前四半期純利益	6,128	5,321
法人税、住民税及び事業税	3,576	2,916
法人税等調整額	△478	138
法人税等合計	3,098	3,054
少数株主損益調整前四半期純利益	3,029	2,266
少数株主利益	24	18
四半期純利益	3,005	2,248

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,029	2,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△752	205
その他の包括利益合計	△752	205
四半期包括利益	2,277	2,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,253	2,454
少数株主に係る四半期包括利益	24	18

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益								
外部顧客への営業収益	57,007	8,299	19,806	52,901	11,952	149,967	—	149,967
セグメント間の内部営業収益又は振替高	994	3,275	2,137	1,003	17,330	24,742	△24,742	—
計	58,002	11,574	21,944	53,905	29,282	174,709	△24,742	149,967
セグメント利益又は損失(△)	9,219	1,431	△419	△3	1,454	11,681	207	11,889

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

報告セグメントごとの営業収益および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	交通事業	不動産事業	レジャー ・サービス 事業	流通事業	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益								
外部顧客への営業収益	55,447	9,389	16,050	53,258	7,562	141,708	—	141,708
セグメント間の内部営業収益又は振替高	944	3,299	2,064	935	12,097	19,342	△19,342	—
計	56,392	12,688	18,115	54,194	19,660	161,051	△19,342	141,708
セグメント利益又は損失(△)	6,268	1,183	△223	448	804	8,480	187	8,668

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設・土木・電気設備の工事、輸送用機器の修理・改造、ビル管理業務等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

該当事項はありません。

5. 補足情報

【第2四半期連結損益計算書(前年同期比較)】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
I 営業収益	149,967	141,708	△8,258	△5.5
II 営業費	138,077	133,040	△5,037	△3.6
1. 運輸業等営業費及び売上原価	121,169	116,061	△5,107	△4.2
2. 販売費及び一般管理費	16,908	16,979	70	0.4
営業利益	11,889	8,668	△3,221	△27.1
III 営業外収益	1,296	1,081	△214	△16.5
1. 受取利息	44	51	6	14.3
2. 受取配当金	215	227	11	5.4
3. 持分法による投資利益	225	206	△18	△8.3
4. その他	810	596	△213	△26.3
IV 営業外費用	4,445	4,133	△312	△7.0
1. 支払利息	3,977	3,875	△101	△2.6
2. その他	467	257	△210	△45.0
経常利益	8,740	5,617	△3,123	△35.7
V 特別利益	198	52	△146	△73.6
1. 工事負担金等受入額	198	52	△146	△73.6
VI 特別損失	2,811	348	△2,463	△87.6
1. 投資有価証券評価損	1,921	295	△1,625	△84.6
2. 固定資産圧縮損	198	52	△146	△73.6
3. 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	691	—	△691	△100.0
税金等調整前四半期純利益	6,128	5,321	△806	△13.2
法人税、住民税及び事業税	3,576	2,916	△660	△18.5
法人税等調整額	△478	138	616	—
法人税等合計	3,098	3,054	△43	△1.4
少数株主損益調整前四半期純利益	3,029	2,266	△763	△25.2
少数株主利益	24	18	△5	△23.5
四半期純利益	3,005	2,248	△757	△25.2

【セグメント情報（前年同期比較）】

	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
交通事業				
営業収益	58,002	56,392	△1,609	△2.8
営業利益	9,219	6,268	△2,950	△32.0
不動産事業				
営業収益	11,574	12,688	1,114	9.6
営業利益	1,431	1,183	△248	△17.4
レジャー・サービス事業				
営業収益	21,944	18,115	△3,829	△17.5
営業損失(△)	△419	△223	195	—
流通事業				
営業収益	53,905	54,194	289	0.5
営業利益又は営業損失(△)	△3	448	452	—
その他				
営業収益	29,282	19,660	△9,622	△32.9
営業利益	1,454	804	△649	△44.7
合計				
営業収益	174,709	161,051	△13,658	△7.8
営業利益	11,681	8,480	△3,201	△27.4
調整額				
営業収益	△24,742	△19,342	5,399	—
営業利益	207	187	△20	△9.7
四半期連結損益計算書計上額				
営業収益	149,967	141,708	△8,258	△5.5
営業利益	11,889	8,668	△3,221	△27.1

【鉄道運輸成績】

科 目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	増減	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
旅客運輸収入				
定期	15,147	14,921	△226	△1.5
定期外	22,300	21,511	△789	△3.5
計	37,448	36,432	△1,015	△2.7
輸送人員	千人	千人	千人	%
定期	125,205	123,227	△1,978	△1.6
定期外	96,890	93,393	△3,497	△3.6
計	222,095	216,620	△5,475	△2.5